

1. 損益計算書 (会基本会計)			
収入の部		支出の部	
一般会費	174,500	印刷費 (*2)	227,706
協力会費	75,000	発送費 (*3)	166,000
敬老会費	312,000	通信費	29,349
障害者会費	6,000	消耗品費	10,078
(会費小計)	567,500	編集経費 (*4)	31,100
カンパ	244,500	交通費 (*5)	17,460
市民の意見販売	1,600	家賃 (*6)	100,000
受取利息 (*1)	439	光熱費	7,969
		手数料	840
		諸会費 (*6)	85,000
		雑費	3,921
収入計	814,039	支出計	679,421
		当期損益	134,618
前期繰越	7,174,257	当期残高	7,308,875

2. 貸借対照表 (次期繰越金)			
資産の部		負債の部	
現金	81,579	預かり金 (*8)	85,500
預貯金	8,241,420	F/I 基金	1,165,820
立替金 (*7)	141,911	条約基金	176,715
敷金	272,000	会基本会計	7,308,875
合計	8,736,910	合計	8,736,910

注 (*1) ゆうちょ銀行普通預金 (*2) 「市民の意見」 140号印刷費。(*3) 「市民の意見」 139号発送費。(*4) 図書カード代¥29,100他。(*5) スタッフ交通費補助9月分¥15,990、編集外出交通費等。(*6) 無言館「絵總い基金」¥50,000、ふくしまの女たちカレンダーへカンパ¥1,000、小田実さんを偲ぶ会賛同金¥30,000、同参加費補助¥4,000。(*7) 事務所家賃、光熱費、通信費等意見広告負担分10～11月分 (*8) うち意見広告賛同金は9～10月分¥83,000。

定年退職を目前に控え、退職後の生活設計をすべく、年金定期便を携え年金事務所へ足を運ぶこと2回。受給方法の違いなどによる受取予定額を試算していただいたのですが、何度聞いてもその複雑な計算方法は良く分からず、結局、私の受取れる年金額では、都会で一人暮らししていけないことだけが判明。はてさて、私はこれからどのように生活の始末をつけようかと思案すれば、会員の方からの退会連絡に「年金暮らして会費の捻出が……」とかカンパを寄せて下さる時に「年金暮らしなので、僅かですが……」などと書き添えられている言葉が身につまされます。

そんなわけで、皆様も会費の納め過ぎにはくれぐれもご注意ください。前号でもお伝えしましたが、毎回発送時に振替用紙を全会員一律に同封しておりますのは、会費の督促ではなくあくまでも事務処理上の都合です。会費期限(宛名シールの右下に記載)を忘れずにご確認下さい。2年を超えますとカンパ扱いとなってしまいます。

さて、今期会計もカンパや会費など収入は安定しており、「無言館」への寄付や「小田実さんを偲ぶ会」への賛同金などの諸会費以外は突出した支出もなく黒字での繰越です。これも会員の皆さまの支えがあればこそ、

と、あらためて感謝、感謝です。(上口)

◆前号(140号)記事の訂正

以下の通り、訂正し、お詫び申し上げます。
*樋口陽一「だまされる罪」を重ねないために

5ページ2段30行(誤) 2013年10月
↓(正) 2012年10月

◆編集委員

阿部めぐみ、天野恵一、有馬保彦(本号担当)、杉内蘭子、高橋武智、對馬 芳、西田和子、野澤信一(次号担当)、本野義雄、諸橋泰樹、吉川勇一、吉田和雄

▼表紙絵の作者 ▲



伊沢 洋

(いざわ・ひろし)

1917(大正6)年2月16日、栃木県河内郡河内町に生まれる。1939(昭和14)年4月、東京美術学校(現、東京藝術大学)油画科に入学。1941(昭和16)年7月歩兵第66連隊に応召し、同月満州中国東北地方(チチハル)に出征後、香港攻略戦、ラバウル、ニューギニア、ラエと転戦。1943(昭和18)年8月18日、とくに激戦地だった東部ニューギニア、サラモア地区カミアダム高地において戦死。享年26。